

# 出雲から陽が昇る



財団法人 人間自然科学研究所

この講演会・シンポジウムは6月に日本島根県  
議会在可決した意見書をきっかけにしています。

昨年、小松理事長は辛亨根・韓国広島総領事から、韓国憲法裁判所による慰安婦問題違憲判決の原告弁護士・崔鳳泰氏の紹介を受けました。崔弁護士は県議会議長に意見書可決の「お礼」のための来県を表明、仲介依頼が研究所にありました。



# 研究所は仲介を承諾し県議会議長・県議会議員との調整に入りました。そうしたなか、韓国では「訪問する」という新聞報道がありました。

## 【協議途中に韓国で報道された島根県訪問の記事】

[http://www.imaeil.com/sub\\_news/sub\\_news\\_view.php?news\\_id=33576&yy=2013](http://www.imaeil.com/sub_news/sub_news_view.php?news_id=33576&yy=2013)



이용수 할머니는 이번 방문을 위해 최근 시마네현 의회 의장에게 감사 서신을 보내 “‘위안부 문제는 일본의 책임인 만큼 강제동원을 인정하고 노담화에 입각해 문제에 대응해 달라’는 의견서를 채택해 줘 고맙다”며 “우리는 이웃나라이고, 앞으로도 협력해 미래로 함께 나아가야 하는 관계인 만큼 위안부 피해자들이 살아 있을 때 이 문제가 제대로 해결됐으면 하는 바람을 담아 이번 의견서 채택에 큰 힘을 쓴 의장님을 한번 만났으면 한다”고 전하기도 했다.

대구변호사회는 이번 시마네현 방문이 일본의 다른 지방자치단체들도 위안부와 관련해 이러한 결의문을 채택할 수 있는 분위기를 조성하고, 하시모토망언 등의 뿌리가 된 2007년 아베 내각의 의회 답변서(강제성을 인정할 증거가 없다)를 철회시키는 실마리가 되기를 기대하고 있다.

최 봉태 변호사는 “이번 시마네현의 방문 목적은 ‘심세득인(審勢得人), 즉 ‘정세를 살피고 사람을 얻기 위함’으로 위안부 문제에 있어 바람직한 입장을 표명한 시마네현 의회에 대한 격려와 함께 이를 통해 독도 문제도 잘 해결하기 위한 노력으로 볼 수 있다”며 “대구변호사회가 독도 문제 해결을 위한 방법을 고민하던 중 시마네현 의회가 위안부 문제와 관련해 결의문을 채택했다는 것을 알고 ‘득인’할 수 있는 좋은 기회라고 판단, 방문을 계획하게 됐다”고 말했다.

이호준기자 hoper@msnet.co.kr

[이용수 할머니의 편지]

시마네현 의회 의장님께

안녕하십니까? 시마네현 의회 의장님.

저는 일본군 '위안부' 피해자 이용수입니다. 이번에 시마네현에서 '신일본부인모임 시마네현 본부'에서 제출한 청원서에 따라 '위안부 문제는 일본의 책임이라며 아베 신조 총리내각에 강제동원을 인정하고 노담화에 입각해 문제에 대응해 달라'는 의견서를 채택해 주셔서 대단히 감사드립니다.

저 이용수는 15살에 밤에 끌려가서 대만에 있는 '신죽' 가미가게 부대로 갔습니다.

지금도 역사의 산 증인인 저 이용수가 살아있습니다. 올해 한국 나이로 저는 86세입니다. 다른 대부분의 할머니도 나이가 많고, 건강이 좋지 않은 분들도 많습니다.

저의 바람은 이 문제를 평화적으로 해결하였으면 하는 마음입니다. 우리가 이웃나라이고 앞으로도 협력해서 미래로 함께 나아가야 할 나라들이 많습니까?

피해자가 살아있을 때 이 문제가 제대로 해결되었으면 하는 바람을 담아, 이번 의견서 채택에 큰 힘을 써주신 의장님을 한번 찾아뵙고 인사를 드리고 싶습니다. 언제쯤 만나주실는지요? 꼭 답변을 주시면 감사하겠습니다.

고맙습니다.

대구에서 이용수 드림

매일신문 공식트위터 @dgtwt / 온라인 기사 문의 maeil01@msnet.co.kr

©매일신문사, 무단 전재-재배포 금지

- 2013년 07월 05일 -

## 協議途中に韓国で報道された島根県訪問の記事。

### <日本語訳>

大邱地方弁護士会,“慰安婦お婆さんと島根県議会訪問”

日本軍慰安婦おばあさんと大邱地方弁護士会が日本国島根県議会の“安倍内閣慰安婦関連是正決意文”採択と関連(本誌6月27日の2面に報道)し、島根県議会を訪問することとしたのが目を引いている。

大邱地方弁護士会(会長ソクワンギ)は、5日、独島問題で韓国と日本間の葛藤の核心地域だった島根県が、最近日本軍慰安婦問題と関連、安倍内閣に是正を求める意見書を出したことを知り、島根県を韓日両国間の問題を解決する和解の戦略地域とするため島根県の訪問を決定したと明らかにした。

今回の日本島根県議会訪問団は、李・ヨンスさん(86才、慰安婦おばあさん代表)と、崔・ボンテ弁護士(大韓弁護士協会日帝被害者特別委員会委員長)、バン・ムンイル弁護士(大邱地方弁護士会独島特別委員会委員長)、パク・ヒョンサン弁護士(独島委員会委員)等のメンバーで今月中訪問を予定している。

大邱弁護士会は今回の訪問で島根県議会議長をはじめ決意文採択に核心的な役割をした委員、決意文採択を促した女性人権団体の“新日本婦人会島根県本部”会長に会って決意文採択に対して、直接歓迎と励ましをする予定。

リ・ヨンスさんは今回の訪問のために最近島根県議会議長宛に感謝のお手紙を送り“慰安婦問題は日本の責任であるだけに、強制動員を認めた河野談話に立脚し、問題に対応してほしい”という意見書を採択してくれたことに感謝していると言う。“私たちは隣国であり、これからも協力しあい、明るい未来へ進まなければならない関係なので、慰安婦被害者たちがまだ生きている内に、この問題が正しく解決されるという念願を込めて今回の意見書の採択に大きな力になりました議長様に一度お会いしたいと伝えました。

大邱弁護士会は今回の島根県の訪問が日本のほかの地方自治団体も慰安婦に関連してこのような決意文が採択される雰囲気を作成し、橋下さん妄言等の根元となった、2007年安倍内閣の議会返答書(強制性を認める証拠がない)を撤回させる手がかりをなることを期待している。

チェ・ボンテ弁護士は“今回の島根県訪問目的は、『審勢得人』つまり、情勢を探って人を得る為”であり、慰安婦問題において望ましい立場を表明した島根県議会に対して激励とともに、これを通じて独島問題の解決にもつながってほしいと言って、大邱弁護士会が独島問題の解決の方法を悩んでいたところ、島根県議会が慰安婦問題と関連した決意文を採択したという情報に接し、“得人”できるよいチャンスだと判断、訪問を企画することになったという。

## 「リ・ヨンスさんの手紙」

島根県議長様へ

はじめまして

私は日本軍慰安婦被害者リ・ヨンスと申します。

この度、島根県で“新日本婦人会島根県本部”が提出した請願書に“慰安婦問題は日本の責任であり、安倍総理内閣に強制動員を認定した河野談話に立脚して問題に対応してほしいという意見書を採択して頂き、真にありがとうございました。私リ・ヨンスは15歳の時、ある日の夜中に、引き連れられ、台湾にあった神風部隊にいきました。

現在も歴史の生き証人である、私、リ・ヨンスが生きています。今年、韓国の年で86歳です。他のおばあさんたちもほとんど高齢で、健康状態が良くない方が多いです。

私の念願はこの問題を平和的に解決してほしいということです。私たちはお隣国で、今後も協力しあい、未来に向けて一緒に進むべきではありませんか？

被害者が生きている間にこの問題が正しく解決されたらという念願を込めて、今回の意見書の採択に大きな力を使って頂いた議長様にお会いして感謝言葉をお伝えしたいです。ぜひ返事がいただければ喜びます。

ありがとうございます。





## 研究所にあてた手紙

2013年8月6日

- ▣ 訪問団体名：大邱地方弁護士会平和使節団
- ▣ 訪問目的：従軍慰安婦問題に対し、強制性を認めない安倍内閣に是正を求める意見書を、はじめて発意された新日本婦人の会と、その意見書の採択を議決した、島根県議会に感謝の意を表明し、これを契機に韓・日間の懸案である、慰安婦問題を平和的に解決し、韓・日間の望ましい友好関係を増進する。





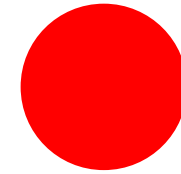
朴賢相  
崔鳳泰  
方文一  
林汶雨  
金炳翼  
李容洙  
吳相泰

バク・ヒョンサン  
チェ・ボンテ  
バン・ムンイル  
イム・ムンウ  
キム・ビョンイク  
リ・ヨンス  
オ・サンテ

大邱地方辯護士會 辯護士  
大邱地方辯護士會 辯護士  
大邱地方辯護士會 辯護士  
大邱地方辯護士會 辯護士  
大邱地方辯護士會 辯護士  
日本軍 慰安婦 被害者  
前 大邱大學校人文大學 學長

研究所はこれに対し、「面会調整をしましたが、  
県議会、請願団体ともに面会しない」との判断  
を受け、再び韓国側に連絡。「戦後責任」を果  
たす立場にある日韓両国の良識ある国民が先頭  
に立ち、世界平和の潮流を生み出す契機とする  
という趣旨での来日機会の設定を伝えました。  
「訪問は研究所に任せます」との韓国側の意志  
表明を受け、研究所は受入を決意しました。

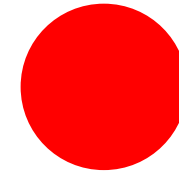
大邱地方辯護士會  
辯護士 崔 鳳泰 様



2013年8月7日

「従軍慰安婦問題に対し、強制性を認めない安倍内閣に是正を求める意見書を、はじめて発意された新日本婦人の会と、その意見書の採択を議決した、島根県議会に感謝の意を表明し、これを契機に韓・日間の懸案である、慰安婦問題を平和的に解決し、韓・日間の望ましい友好関係を増進する」との目的で、7名の島根県訪問希望の文書を受け取りました。

人間自然科学研究所では、議会事務局、提案議員と協議いたしましたが、残念ながら、議長からは「特定の個人、団体と面会することは、議会を混乱させる」との理由で、面会を断る返事が3度きております。島根県議会の各党派の議員も、議長と同じ理由で、皆様にお会いすることは差し控えたいとの回答がありました。「新日本婦人の会島根県本部」は、尾村利成県議を通じて、代表者の東京出張により会えない、また9月に東京本部のほうで元慰安婦代表の方とお会いする計画があるとの連絡がありました。



人間自然科学研究所が You tube で発表しているコンセプト映像「出雲から陽が昇る」で表明していますが、「戦後責任」を果たす立場にある日韓両国の良識ある国民が先頭に立ち、米国でも銅像・碑の建立が続くなど、最も本質的かつ緊急の課題である、慰安婦問題を入り口に、日本列島と朝鮮半島の非核化、周辺諸国ひいては世界の核削減につなげ、日本・韓国・朝鮮から世界平和の潮流を生み出す契機とするという趣旨で、「未来を考える女性の会」のメンバーを交え、皆様のお話をうかがい、世界的視野で未来への道筋を共に描く機会を設定したいと考えております。この趣旨に同意いただいたうえであれば、ご来県を歓迎いたします。

重ねて申し上げますが、今のところ、議員および「新日本婦人の会 島根県本部」の皆様との懇談は難しい状況です。

財団法人人間自然科学研究所  
理事長 小松昭夫

# 対立から共生の文化へ

当研究所は、2月22日の「竹島の日を活かし」、朝鮮半島と日本列島を「対立から共生の文化」へ導くため、次の構想を提案します。

**竹島独島地球共生・縁結びの女性像**建立  
国連が軍隊を編成して戦った唯一の戦争である朝鮮戦争を最後の総力戦にするため、朝鮮半島・日本列島から始まる「対立から共生の文化へ」のシンボルとして竹島独島に参加国の民俗服を着た「地球共生・縁結びの女性像」の建立を1999年に提案しています。



地球共生・縁結びの像イメージ



23日、一行は大邱を午前2時に出発。仁川空港より午前11時、米子空港に到着しました。





最初の訪問地は、韓国江原道との交流がある琴浦町にある、風の丘「日韓友好交流公園」

日本海東海と書いた表示版の「東海」を2007年に焼き消し、議論があった碑文をみました。





日本一の中国庭園燕趙園に訪問。



鳥取県の研究所理事や関係者と挨拶を交わしました。

燕趙園に研究所は、中国の日中戦争激戦地で平和を念じてつくった孔子、孟子像を寄付しています。





七福神のもとと言われる中  
国八仙人像の寄付仲介や



山東省東營市から小松理事  
長に送られた孫子像を  
寄付しています。

講演会に先立って警察に  
警備いただく中、島根県  
竹島資料室を見学しまし  
た。







会場では一面に  
「朝鮮半島・日本列島を『和の文化』  
発祥の地に」  
「日本一のむらづくり」の  
のぼり旗をたてました。





講演会直前、応接室での最終打ち合わせ。  
小松理事長へ 韓国大邱地方弁護士より感謝状が渡され、島根県議会議長に宛てた親書が託されました。







事前の報道でも伝えられた「審勢得人」とかかれた書が贈呈されました。



布施辰治 生誕一三〇年  
ドキュメンタリー映画

# 弁護士 布施辰治

生くべくんば民衆と共に、  
死すべくんば民衆のために

一〇〇年前、韓国を強制併合した日本、  
それは徹底した人権抑圧の時代であった  
「一人だっって見殺しにされていい人類などない」  
私たちへ「生きるとは何か」を語りかける

〔主演〕赤塚真人

〔朗読〕中村雅俊 (友情出演)

浜名美貴 / バク・スファン / チョン・ヒョージン

〔ナレーター〕湯浅真由美

〔後援〕石巻市 / 東松島市 / 女川町 / 大韓弁護士協会

〔監督・脚本〕池田博穂

〔プロデューサー〕吉村廣重 / 池田博穂 / 山本 洋 / 桑山和之

〔音楽〕小六禮次郎 〔撮影〕野間 健 〔照明〕岩崎定雄 〔美術〕春木 章

〔装飾〕相田敏晴 〔メイク〕金森 恵 〔録音〕本田 致 〔編集〕岡村光雄

〔助監督〕田所一郎 〔AP〕相子奈菜

〔製作〕Office 池田

〔製作協力〕(有)共同企画ヴァーロ / (株)法学館憲法研究所 / 桑山プロダクション

〔企画・製作〕ドキュメンタリー映画「弁護士 布施辰治」製作委員会

TEL:03(5840)9361 / FAX:03(5803)9530

<http://www.fuse-tatsuji.com/>

研究所が鳥取島根の放映権をもつ、戦前から戦後に掛けて活躍した弁護士布施辰治のドキュメンタリー映画をまず上映しました。





ようこそいらっしゃいました。心から歓迎の意を表します。日本に、島根県に勇気をもっていらっしゃいました。日本の器をどうしていくか考えていく機会にしたいと思います。

輝く未来を考える女性の会  
佐藤京子さん挨拶

人間自然科学研究所  
理事長 小松社長あいさつ

我々は朝鮮半島の対岸にあります。この立ち位置を生かして、ここから次の新しい時代を、一緒になって創って行こう。世界の中で必要不可欠とされる流れを創ろう。生まれてきて良かったと言ってあの世に行ける人がたくさん生まれる環境を整える。これが世に役に立つことではないか。







島根県議会の意見書を支持し、感謝の意を伝えるに参りました。日本の見識のある方々との交流を通じて相互理解が深まる機会となることを期待します。

韓国側代表  
方文一さん挨拶



## 李容洙さん講演

歴史の証人として皆さんに証言できることを幸いに思います。15歳の時、夜中に起こされ、連れて行かれ、台湾の特攻隊に行きました。朝鮮人と言われ殴られた。私は慰安婦ではありません。李容洙です。今は恨みもなく、後悔もありません。隣国ではないですか。皆様と仲良く過ごせる日が来るのが、私の希望なのです。一緒に力をあわせましょう。



## パネルディスカッション

小松 主権は国民国家においては、国民にあります。慰安婦の問題は、  
基本的人権のところにつながっています。

崔 島根県の方には歴史的使命があると思います。

佐藤 今回の意見書が、国を変えていく。まず行う。然る後、言葉はそ  
れに従う。







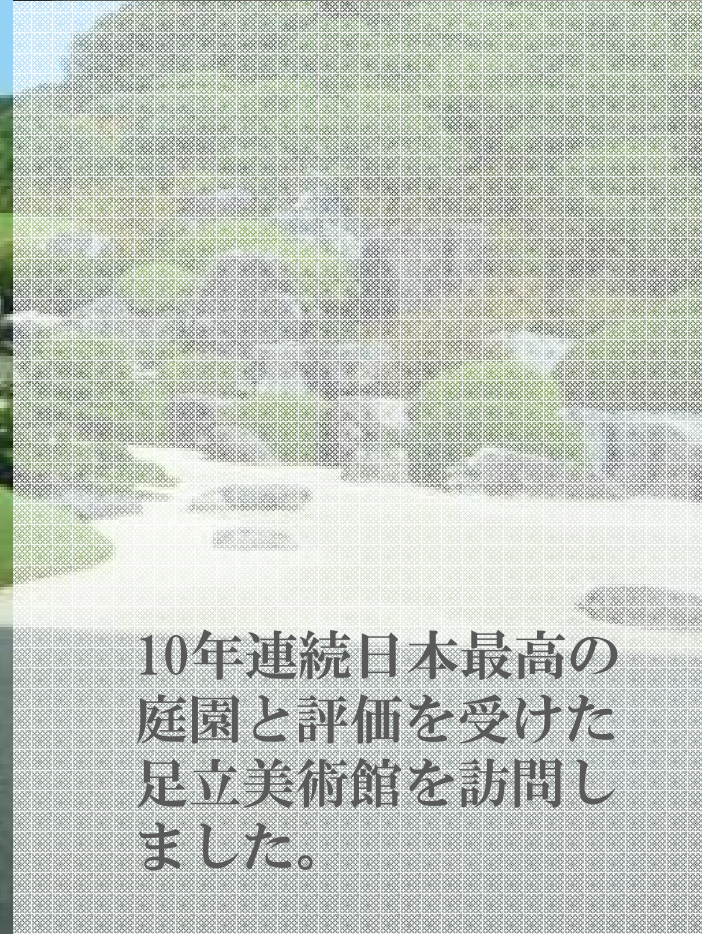
シンポジウム終了後には記者会見が開かれました。

韓国嶺南日報の朴真観記者は、こうした活動が小松電機産業の社業に影響はないですかと質問。

小松社長は「もちろん影響があります」として、平和事業推進と社業の対立、統合発展について話しています。







10年連続日本最高の  
庭園と評価を受けた  
足立美術館を訪問し  
ました。





美術館に続く温泉旅館では、3日間の行程の反省会として、それぞれ意見を交わしました。会場には大山から昇る朝日が掲げられていました。





強くなるには生きられない、弱くなるには生きることがない  
対立の文化から共生の文化へ







シンポジウムの数日後、岡山県の大和塾が小松電機産業前で街宣活動を行いました。小松理事長は会社会議室に招き入れ1時間にわたって意見交換をしました。





小松昭夫理事長はシンポジウムから5日後、韓国、ソウルに行き崔鳳泰弁護士と再会。開かれていた「日帝問題解決に関するシンポジウム」を聴講。



ここで崔弁護士より韓国の弁護士のほかに、このシンポジウム参加している日本の弁護士の紹介をいただきました。



米ニュージャージー州パリセイズパーク市の公立図書館脇にある従軍慰安婦の記念碑=18日（共同）



## 慰安婦碑、米で争点に 撤去要請に市側反発

【ニューヨーク共同】「ニューヨーク共同」で提示していない」と米ニュージャージー州パリセイズパーク市に設置されている旧日本軍の従軍慰安婦の記念碑をめぐる、市長側が「桜の木などの香贈を交換条件に日本側から撤去を求められた」と反発している。総領事館側は「交換条件とし

たとみられる。

カルザイ氏はアフガンの「安定維持と強力な前進」のため各国に支援を求めた。

オバマ氏は今月1、2日、アフガンの首都カブールで記者会見

て提示していない」と否定している。ニューヨーク市でも同様の碑の設置計画が持ち上がっており、日韓両国で争点化している従軍慰安婦問題が米国に持ち込まれた形。日本側にとって「頭痛の種」（政府関係者）になっている。

パリセイズパーク市は人口約2万人のうち半数以上が韓国系。2010年に公立図書館脇に設置された碑は、帝国日本政府軍が従軍慰安婦として「20万人以上の女性や少女を拉致」し、彼女らが受け

た人権侵害の「恐ろしさをおぼろげに忘れない」と記している。関係者などによる、広木重之ニューヨーク総領事は今月1日、パリセイズパーク市の市長と会談。軍閥とを認め「おわびと反省」を表明した1993年の河野洋平官房長官（当時）の談話などを読み上げ、日本政府の対応に理解を求め、碑の撤去を要請。同席したキム副市長は、桜の木や図書の寄贈を交換条件にされたとして「自分の耳を疑った。頭にきた」と説明した。

### ▣ 慰安婦碑の新聞記事（米国で）

2012年5月22日、日本海新聞

### ▣ 韓国 日本大使館前の少女像

少女像や米国で建立されている慰安婦に関する碑文の移設を提案



これは小松理事長を取材した朝鮮日報（韓国発行部数1位）の鄭佑相記者にも伝えました。翌日の新聞には、理事長の発言として「戦後責任」とともに、韓国の「慰安婦」問題への姿勢が「日本人に恥をかかせる方法である」とした研究所の見解が伝えられ韓国メディアに実質的に初めて、「右翼」とのレッテル貼りをしない冷静な意見として掲載されました。しかし、移設についての発言は、掲載には至りませんでした。

## “한국서 택시 승차 거부당한 뒤 韓·日 역사 공부 시작”



전기행 기자  
고마쓰 아키오 인간자연과학연구소 이사장이 30일 국회 의원회관에서 안중근 의사 기념사업에 대해 설명하고 있다.

안중근 의사 기념사업하는 일본인 고마쓰 아키오씨 訪韓

일본인으로서 안중근 의사 기념 사업을 하고 있는 고마쓰 아키오(小松昭夫·69)씨는 1944년 일본 시마네현(島根縣)에서 태어났다. 시마네현은 ‘다케시마의 날’을 제정해 독도를 자기네 섬이라고 주장하는 지방자치단체다. 한국에 독도 침탈의 중심으로 인식되는 시마네현 의회가 지난 6월 아베 내각에 “위안부 강제동원 사실을 인정하고 정부가 문제 해결에 나서라”는 결의문을 채택했다. 시마네현 의회의 이런 행동은 일본의 ‘전후(戰後)책임’을 다해야 한다며 한국, 중국을 다니며 사죄와 기부를 계속해온 고마쓰씨의 행적만큼이나 복잡해 보였다.

30일 서울 여의도 국회 의원회관에서 만난 고마쓰씨는 “원래 대립과 모순이 있어야 변화가 있다”고

말했다. 한·일이 지금 갈등하는 것은 새로운 변화를 위한 불가피한 과정이라고 했다. 그는 해결의 변증법 이야기라고 했다. 그러나 고마쓰씨

“韓·中·日 갈등 커지는 시기 세계적 평화사상가 안중근을 더욱 연구하고 계승해야

위안부 문제 반성하게 하려면 ‘망신’ 주겠다는 방법보다 ‘화해와 용서’로 풀어나가야

는 신입사원들과 시마네현 주민들을 한국에 데려와 독립기념관을 견학시키고 “역사를 알아야 한다”고 강조했던 사실은 내세우지 않았다. 시마네현 의회가 제정한 ‘다케시마의 날’에 맞춰 일본에서 안중근 의

사에 대한 학술세미나를 개최한 것도 따로 말하지 않았다.

고마쓰전기 대표이자 인간자연과학연구소 이사장을 맡고 있는 고마쓰씨는 2008년 안 의사 기념관 건립기금으로 100만엔을 기부했고, 1997년에는 독립기념관에도 100만엔을 기부했다. 북한 어린이 돕기에 써달라며 우리 적십자사에 500만엔을 내기도 했다. 백범기념관, 서대문형무소 등 한국 독립운동 유적은 대부분 방문했다. 평범한 사업가였던 고마쓰씨는, 젊었을 때 한국에서 일본인이란 이유로 택시 승차를 거부당한 이후 충격을 받고 역사 공부를 시작했다. 그는 “요즘처럼 한·중·일 갈등이 커지는 시점에서 안중근이라는 세계적 평화사상가를 더욱 연구·계승해야 한다”며 “한국에서 안 의사에 대한 연구가 부족한 것 같다”고 말했다.

고마쓰씨는 지난 24일 시마네현

의회의 위안부 결의안 채택을 지지하겠다는 대구변호사회 관계자들을 시마네현으로 초청했다. 초청 방문단에는 위안부 할머니도 포함됐다. 일본 우익의 방문 반대시위가 있었지만 개의치 않았다. 그는 “나는 전후(戰後)세대로 전쟁 책임은 없다. 그러나 전쟁을 일으킨 국가 국민으로서 전후(戰後)에도 책임을 다할 것”이라고 말했다.

그는 보통 일본인이다. 산업진흥공로 훈장을 받았다는 말을 할 때는 “천황폐하에게 받았다”고 했다. 위안부 문제와 관련, 고마쓰씨는 “일본이 위안부 문제를 진짜 반성하게 하려면 한국도 지금처럼 일본인들에게 망신을 주겠다는 방법보다는 실질적 해결이 이뤄지는 방향으로 운동 방식을 바꿨으면 좋겠다”고 했다. ‘화해와 용서’는 서로 입장을 이해하는 것부터 시작한다는 것이 그의 생각이었다. 정우상 기자



## 朝鮮日報日本語サイトより

### 「韓国でタクシー乗車拒否されて韓日の歴史を学び始めた」

日本人として安重根(アン・ジュンゴン)義士記念事業に携わっている小松昭夫氏(69)は1944年に島根県で生まれた。島根県は「竹島(韓国名:独島)の日」を制定し、独島を同県の島だと主張している。韓国では独島侵奪の中心と認識されている島根県議会は6月、安倍内閣に対し「日本軍『慰安婦』問題への誠実な対応を求める意見書」という議案を可決した。島根県議会のこうした動きは、日本の「戦後責任」を果たさなければならないとして韓国・中国を行き来し謝罪と寄付を続けてきた小松氏の行動と同様、複雑なものに思えた。

8月30日、ソウル・汝矣島の国会議員会館で会った小松氏は「本来、対立と矛盾がなければ変化もない」と話した。韓日が今、葛藤しているのは新たな変化のために避けられない過程だという。そしてヘーゲルの弁証法の話をした。しかし、小松氏は自身が経営する会社の新入社員や島根県民を韓国に連れてきて、独立記念館を見学させ「歴史を知るべきだ」と強調したことは言わなかった。島根県議会が制定した「竹島の日」に合わせ、日本で安重根義士に関する学術セミナーを開催したことにも特に言及しなかった。

## 朝鮮日報日本語サイトより

小松電機産業の代表であり、財団法人人間自然科学研究所の理事長も務める小松氏は、2008年に安義士記念館の建設基金として100万円を寄付、それより前の1997年には独立記念館にも100万円を寄付している。「北朝鮮の子どもを救うのに役立ててほしい」と大韓赤十字社に500万円を渡したこともある。白凡記念館や西大門刑務所といった韓国の独立運動ゆかりの地はほとんど訪れた。一般的な会社経営者だった小松氏は若いころ、韓国で日本人だという理由でタクシー乗車を拒否されてショックを受け、歴史の勉強を始めたという。「最近のように韓中日の確執が激しくなっている中では、安重根という世界的な平和思想家の考え方をさらに研究・継承しなければならない。韓国では安義士に関する研究が足りないようだ」と語った。

小松氏は24日、島根県議会の「日本軍『慰安婦』問題への誠実な対応を求める意見書」決議を支持すると表明した大邱弁護士会の関係者を島根県に招待した。招待訪問団には元慰安婦も含まれている。日本の右翼が訪問に反対するデモを行ったが意に介しなかった。「私は戦後世代で戦争責任はない。だが、戦争を起こした国の国民として戦後も責任を尽くす」と話す。



## 朝鮮日報日本語サイトより

小松氏は普通の日本人だ。産業振興に功績があったとして国土交通大臣表彰などを授与されたことを語る時は「天皇陛下にいただいた」と話した。慰安婦問題に関連して小松氏は「日本が慰安婦問題を本当に反省しようとするなら、韓国も今のように日本人に恥をかかせるような方法ではなく、実質的な解決が行われる方向へ運動のやり方を変えてほしい」と主張した。「和解と許し」はお互いの立場を理解することから始まるというのが小松氏の考えだ。

鄭佑相(チョン・ウサン)記者朝鮮日報／朝鮮日報日本語版









平和使節団の訪日を実現された背景には'小松昭夫'という日本の企業家の  
勇気と決断があったからこそ可能だった。彼は小松電機産業の代表であ  
り、〈財〉人間自然科学研究所理事長の資格で平和使節団を招待した。平  
和使節団は23日、初日の招待者側と一緒に米子空港近くの文化観光地を  
視察した。翌日午前には、竹島資料館を訪問し、午後には李ヨンス強制  
慰安婦被害者とチェ・ボンテ弁護士が小松電機産業の大会議室でそれぞ  
れ証言と特別講演を行った。その後、招待者側のパネルと平和使節団間  
の韓日の懸案に対する討論と記者会見が行われた。日本私服警察が右翼  
団体の突発行動に備えて初日から帰国日まで私たちを警護してくれた。

◇…仁川空港で鳥取県米子空港までは飛行機で1時間10分かかる。飛行  
機は午前9時50分に出発し11時ごろ、目的地に到着した。米子空港は規  
模がわりと小さかったが、とてもきれいだった。平和使節団は簡単な入  
国手続きを終えて空港ロビーに入った。小松理事長とジャーナリストの  
早川和宏さんらが一行を出迎えた。空港庁舎の外に私服警察に見える警  
護員5~6人が目立った。バスに乗って空港庁舎から出て行く時は日本の  
右翼団体の会員らが“竹島(独島の日本式名)を不法占拠している韓国と国  
交を断絶”という垂れ幕を持ち上げ、奇襲デモを行った。垂れ幕には小  
さな字で'韓国はうそつき、泥棒、歴史の捏造国家'と記されていた一行は  
デモ隊を無視した。バスの中で両側間の挨拶が交わされた。

小松理事長は”20年間平和関連の行事をしたが、今回のシンポジウムが韓日間の平和はもちろん人類平和の新しい始まりを知らせるきっかけになったらいいと挨拶をした。続いて”世の中に、役に立たない人はないと思う。空港で日本の右翼がデモするのを見たがそんな人たちとも一緒に行かなければならないと見ている”と述べた。言論人早川さんは”3・11日本津波の時、韓国の知人たちが手紙で慰めてくれてありがたかった。どんな理由でも戦争は阻止しなければならない”と言った。

稲田幸子人間自然科学研究所監査は”イ・ヨンスさんにお会いできてうれしい。疲れた様子もなく、若い姿でいい”と述べた。訪問日平和使節団団長は”島根県庁と県議の訪問が中止されたが、小松理事長が招待して頂いたことに感謝する”と挨拶をした。チェ・ボンテ弁護士は”94年から数え切れないほど日本にきました。今日のようにプラカードに歓迎を受けたのは初めてだ。晩餐会の際にこれらを招待して率直に対話をしたい”と述べた。



使節団は、鳥取県と江原道との姉妹提携を記念して造成した「カゼノオカ」すなわち、'風の丘'公園に向かった。この公園は昔から東海で遭難し漂流する韓国漁民が鳥取県近海で日本人の救助で命を救われ帰国することになった歴史的事実を記念して作った場所だ。公園の中には韓国式に建てられたウホデと石塔、鐘楼、石風車などがある。

たまに雨が降る中、交流記念資料館と友好公園を見てまわった。公園には無窮花(ムクゲ)とサルスベリが満開していた。友好交流記念碑に日本海・東海文字が併記されていたが、誰かが'東海'の漢字を毀損した跡が鮮明に残っていて苦い気がした。海岸風景が、盈徳(ヨンドク)~蔚珍(ウルジン)間、東海と変わらない気がして親しく感じた。

一行は赤碕港付近の国道9号線沿いの食堂で昼食をした。この席では小松理事長が対話を主導した。彼の話聞いてみよう。

”農業機械事業のためにソウルでタクシーに乗っていたが、日本人ということを利用して乗車拒否を受けました。当時はとても不愉快だったが、それをきっかけに歴史の勉強をするようになりました。明成皇后の殺害と創氏改名など日本人が犯した歴史の過ちに対して謝罪したかったです。会社の同僚と一緒に南京大虐殺記念館とハルピン731部隊の遺跡地、ハワイ真珠湾、韓国独立記念館、ソウル西大門刑務所などを訪れて献花し、献金をしました。

最初はビジネスレベルでそうしているのではないかと思われてたけど、漸く私の本心を知ってくれる人たちが増えています。普通の日本人は私を’珍しい人’”ミステリアスな人’とみましよう。

でも私は「易地思之」の立場で人と物を見ようとしています。平和活動は誰かが必ずしなければならない事じゃないですか。小松理事長はまた、“その結果、中国の四書から抜粋した内容を簡単にまとめ、韓・中・日の3ヶ国語（英語を加えて四か国語）で編纂し、人間自然科学研究所を設立し、平和思想を伝播している”と述べた。平和使節団は昼食を終えた後、鳥取に位置する日本最大の中国庭園である燕趙園を訪れた。この公園は、鳥取県と中国河北省との姉妹提携をきっかけに造成した。

北京頤和園の10分の1規模で、非常にこじんまりとしていた。大邱にもモミヨンジェと鹿洞書院など韓・日・中の平和と友好を象徴する施設があるが、これを観光資源としてきちんと活用していないと思った。使節団は、展示館庭にある孔子と孟子、孫子(像)などを鑑賞した。この人物像は小松理事長が燕趙園公園に寄贈したものだ。儒学を通じて平和思想を伝播するという意志を示したシンボルであるわけだ。



この席で小松理事長の知人の高多彬臣元島根（鳥取）県立図書館長のあいさつの言葉があった。彼は自分を’日本平和憲法改正反対中部地域会員’と紹介した。彼は”特に安重根義士の遺墨が展示された内容を見て驚いた。特に’一日でも本を読まなければ口の中にとげが生える’という文章を見て大きな感銘を受けた”とした。また”安重根義士は思想的に東洋平和の先駆者だった”と評価した。

当日の晩餐会で日本の良心的な知識人と本格的に対話を交わす機会を持った。この席では日本の右傾化やアベノミクスに対する批判が続いた。

保母武彦元島根県立法文学部副学長（島根大学副学長）は”（国民は）自民党の長期政権を嫌い、民主党を選択したが、国民の期待に及ばなかった。それで国民は、安倍を選択した。しかし、安倍が成功するはずだと信じる人は今、誰もいない。国債問題に集中し続けると、平和憲法改正は難しいだろう。秋になるとアベノミックスのバブルが消える結果を迎えることになるだろう”と主張した。

彼は、引き続き、“個人の信念が重要である。正しいことはいつも少数から始まる。日本国民が小松理事長のような人を認める社会になればすなわち、日本が変わったということになる。慰安婦の青春を戻すことは出来ませんが必ず賠償してもらわなければならない”と強調した。

湯梨浜学園理事長は”東京大学在学時代、帝国主義反対デモの経歴がある。しかし、大学卒業後40年間お金を儲けるのに懸命で社会への関心が少なかった。ところが5年前、儒学を一緒に勉強しながら小松理事長と知り合いになった。彼に会ってから大学時代の’私’にまた逆戻りしたようだ。すべての事を自ら解決することができてこそ、君子とすることができる。また、歴史から真実を学ばなければならない。平和憲法を改正すれば、今の子供たちが戦争に行かなければならない状況が来るかもしれない。始業式で子供達の前で韓国の平和使節団に会った話をする”とした。

◇…鳥取県米子市から島根県庁がある松江市までは車で約40分かかる。島根県は慶尚北道と15年間交流をしてきたのに2005年’竹島の日’を制定し慶尚北道から断交を喫した。小松理事長が代表を務める小松電機産業も島根県松江市に位置している。島根県にある出雲市は日本で最も大きな神社がある地域である。島根県の旧名が出雲でもある。先頃6日、日本最初の軽量級航空母艦出雲号も出雲の名前を取ったものだ。

そんななか、先週6月26日、島根県議会が、日本政府が強制慰安婦に対して賠償する責任があるという決議案を採択したのは驚くべきニュースだった(賠償責任ではなく、軍関与を認める河野談話にのっとった解決を求めた)。小松理事長のような人たちが島根県の勇気ある行動を引き出すことに貢献した。



同日午前、平和使節団の第一の探訪地は竹島(独島の日本式名)資料館だった。使節団は、雨が降る中、警察の嚴重な警護を受け、資料館に向かった。日本の右翼団体の会員に見える人たちが3~4人の資料館の前に見えたが、幸い、衝突が起こることはなかった。当初、彼らは午前10時になっていた平和使節団の資料館訪問の時刻に合わせて資料館前でデモを行う予定だったが使節団が午前9時に到着してから時間がずれた。

平和使節団が島根県第3庁舎（第3庁舎前）にある竹島資料館に入ると、担当公務員が案内した。'独島は日本の領土'ということを主張する映像を見ていた平和使節団の顔色がこわばった。イ・ヨンスさんの唇がぶるぶる震えた。約30分間資料館を見た平和使節団は一様に"鬱陵島にある独島博物館に比べて規模と内容が貧弱、大雑把な気がする"と反応を示した。

平和使節団が早く席を立ったため、日本の右翼団体は場所を移して島根県民会館前で集会をした。（最初から県庁前の予定）「幸福実現党」という右翼団体の会員20人余りが'慰安婦は捏造だ' '帰って来い竹島(独島の日本名称)'などが書かれたピケット（プラカード）を持ったままデモを行った。動員されたような10人余りの市民がカメラで集会の現場を撮っていた。

午後2時から小松電機の会社1階の大会議室で170人の聴衆が集まった中、平和をテーマにした韓国平和使節団の特別講演会が開かれた。講演に先立って、聴衆は日本植民地時代の朝鮮の独立闘士のために無料弁論をして弁護士資格を剥奪された布施辰治弁護士の映像を視聴した。彼は日本人初で韓国政府から建国勲章を受けており、自由法曹団を組織し、日本国民の人権と民主主義の発展に献身した人物だ。

同時刻に平和使節団パクヒョンサン、大邱(テグ)弁護士協会の独島特別委員長がこの会社2階の接見室で、大邱(テグ)地方弁護士会(会長ソクワンキ)を代表して小松理事長にソク会長の感謝の手紙を伝えた。強制慰安婦賠償を議決した(慰安婦に関する意見書を可決した)島根県議長に伝える手紙も一緒に渡した。

訪問日平和使節団団長は書道家ノサンドン画伯が書いた'審勢得人'作品を、イ・ヨンスさんは強制慰安婦たちの作品集の'お婆さん愛におちいる'をそれぞれ小松理事長に贈り物として伝えた。



◇…平和使節団は同日午前、島根県足立美術館の庭園を観覧した後、米子空港に向かった。帰国する際、小松電機産業のホームページに小松理事長を非難する数十個の書き込みが掲載されたという話を聞いた（実際にはメールが来た）。

その中には'いまだに' '貧困国水準で外国に売春婦を排出する韓国が世界10位の経済大国なのか' '日本軍が強制的に慰安婦を連行したわけではなく、女たちが自発的にしたのではないか、慰安婦が軍人の何倍の給料を受けた' '韓国人の捏造に乗せられるな'などの真実を捏造する内容が大半だった。

その上で8月31日、韓国仁川空港から、国際司法裁判所があるオランダハーグへ向かいました。





ハーグ市庁舎では平和の為の世界博物館世界ネットワーク (INMP) の推薦より、小松理事長を含む20人が「世界の平和事業家」として展示されました。







## 【世界の平和フィランソロピスト（事業家）20人】

1. アンドリュー・カーネギー（1835-1919）
2. アルバート・K. スマイリー（1828-1912）
3. アルフレッド・ノーベル（1833-1896）
4. プリシラー・ペコヴァー（1833-1931）
5. ジャン・ブロッホ（1936-1902）
6. エドウィン・ジン（1938-1914）
7. J.G.D.ワテラー（1858-1927）
8. ヘンリー・フォード（1863-1947）
9. ジョーン・D. ロックフェラー・Jr（1874-1960）
10. サイラス・イトン（1883-1979）
11. 中野信夫（1910-2010）
12. 趙永植：チョウ・ヨンシク（1921-2012）
13. ジョーン・クロック（1928-2003）
14. コーラ・ワイズ（1934-）
15. テッド・ターナー（1938-）
16. 小松昭夫（1944-）
17. モー・イブラハム（1946-）
18. リチャード・ブランソン
19. ビル・ゲイツ（1955-）
20. ミランダ・ゲイツ（1964-）



## 小松昭夫（1944-）

日本人実業家で、1973年小松電機産業を設立、シートシャッター「門番」とクラウド水総合管理システム「やくも水神」の2つの新産業を興した。1994年人間自然科学研究所財団を設立、治水の偉人「周藤彌兵衛翁」顕彰事業から活動を始めた。

戦後責任を自覚、生命・人類の特性・世界史の視点で「民間外交」を展開、アジアをはじめ世界の戦争と平和記念館を訪問、追悼・献花・寄付を続けている。核大国の中国、米国、露国の影響下にある朝鮮半島と日本列島から世界平和の礎を築くための人道主義的実践はきわめて意義深い。

平和・環境・健康をテーマに多くの国際セミナーを開催。2002年中日英三カ国語「論語」を出版、日中両国政府に贈呈。2008年中日韓英四カ国語「中国古典名言録」を出版、北京で「国民国連構想」を発表した。2013年コンセプト映像「出雲から陽が昇る」をYouTubeに発表、「和の文化」創造プロジェクトに取り組んでいる。また、ベルタ・フォン・ズットナーの顕彰に努力する日本の中心人物の一人でもある。

Peace Philanthropy - Then and Now

18 Akio Komatsu (1944)

Akio Komatsu is a Japanese industrialist who founded Komatsu Electric Industry in 1973. In 1994 he established the Human, Nature & Science Institute Foundation and began his philanthropic activities.



Realising his country's post-World War II responsibilities, Komatsu has been active in "grassroots" diplomacy. He has visited many places of remembrance in the world (including war & peace museums), expressing sorrow, offering flowers, and making donations. His unique humanitarianism is meant to pave the road to world peace from the Japanese archipelago and the Korean Peninsula where the presence of three nuclear powers (China, Russia, US) is significant.



Komatsu has sponsored many international seminars on peace, health, and the environment. In his efforts to promote a "culture of harmony", he has published The Analects of Confucius, and The Chinese Classic Quotations in several languages. He is also one of the main promoters of Bertha von Suttner in Japan.

International Network of Humans for Peace





ハーグ平和宮建立100周年記念  
事業晩餐会出席しました。







## ズットナー胸像除幕式

ベルタ・フォン・ズットナー（1843-1914）

19世紀末から20世紀初めにかけて活躍したオーストリアの作家、平和運動家。平和問題に熱意を持ち、1889年に有名な「武器を捨てよ！」という小説を書いた。1905年、女性で初めてノーベル平和賞を受賞。ヨーロッパでは「平和運動の母」として、オーストリアの2ユーロコイン硬貨に肖像が刻まれている。







平和市長世界会議の議長として役目を果たすなど、活発な平和活動を展開している、前広島市長 秋葉忠利氏と共に







また、2012年に初めて訪問した  
ハーグ密使事件で憤死した李儁  
(リジュン) を展示する李儁紀  
念館をINMPのピーターバンデン  
デュゲン博士と共に再訪しまし  
た。

ここでは韓国の安重根義士の紀念  
館から研究所の仲介により贈呈さ  
れた「獨立」のレプリカが展示さ  
れています。





## 縁結び女性像

1999年  
人間自然科学研究所  
構想発表